

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年8月9日

**【四半期会計期間】** 第3期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** 株式会社ジーテクト

**【英訳名】** G-TEKT CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 菊池 俊嗣

**【本店の所在の場所】** 埼玉県さいたま市大宮区桜木町一丁目9番地4

**【電話番号】** 048-646-3400(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 木下 三五郎

**【最寄りの連絡場所】** 埼玉県さいたま市大宮区桜木町一丁目9番地4

**【電話番号】** 048-646-3400(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 木下 三五郎

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第2期 第1四半期連結 累計期間	第3期 第1四半期連結 累計期間	第2期
会計期間		自 平成24年 4月1日 至 平成24年 6月30日	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 6月30日	自 平成24年 4月1日 至 平成25年 3月31日
売上高	(百万円)	38,321	43,217	154,518
経常利益	(百万円)	3,535	3,227	11,815
四半期(当期)純利益	(百万円)	2,196	1,946	7,537
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	4,589	8,369	15,999
純資産額	(百万円)	65,095	88,318	80,487
総資産額	(百万円)	135,219	156,491	144,752
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	116.14	88.72	358.11
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	43.0	51.2	50.5

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

## 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は以下の通りであります。

（営業・開発事業及び量産拠点）

平成25年4月にG-TEKT North America Corporationを新規設立いたしました。

この結果、平成25年6月30日時点では、当社グループは、当社、子会社17社及び持分法適用関連会社1社により構成されることとなりました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

インドネシア合弁会社の完全子会社化

当社は、平成25年4月26日開催の取締役会において、当社の関連会社であるPT. Auto-Body Manufacturing Indonesiaの株式会社エイチワン保有株式の全てを取得し、完全子会社とすることを決議し、同日、株式会社エイチワンとの間で基本合意を締結いたしました。

当会社は、インドネシアに所在する資本金20億円の会社であり、現在、当社と株式会社エイチワンが50%ずつ株式を保有しております。

なお、株式譲渡契約締結及び株式譲渡日は平成25年9月を予定しております。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における国内外の経済情勢は、国内景気は円安・株高と政府の経済対策により回復基調で推移いたしました。

海外については、米国は回復基調が強まったものの、欧州及び新興国の一部では景気の減速がみられ、総じて世界全体で緩やかな成長が続きました。

自動車業界につきましては、国内の生産・販売実績は弱含みで推移しましたが、海外におきましては、北米・アジアを中心に生産・販売が拡大・回復傾向にあります。

このような状況のもと当社グループは、国内外において新型車に係る受注部品の量産立ち上げに注力するとともに、インドネシア及びメキシコに引き続いて、北米の新会社稼働準備を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高については、前年同四半期に比べ、北米・アジアでは堅調に生産が拡大し、43,217百万円（前年同四半期比12.8%増）となりました。他方、利益につきましては、原価低減の施策を行いましたが、設備投資の増加による減価償却費負担もあり、営業利益は3,162百万円（前年同四半期比15.6%減）、経常利益は3,227百万円（前年同四半期比8.7%減）、四半期純利益は1,946百万円（前年同四半期比11.4%減）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

日本

前期は震災後の挽回生産により売上が増加したのに対し、当第1四半期は新工場立ち上がり準備により生産台数が減少し、売上高は9,913百万円（前年同四半期比24.7%減）となりました。セグメント利益（営業利益）はコスト削減の結果、520百万円（前年同四半期比67.2%減）にとどまりました。

北米

新型車の販売好調により生産台数が増加し、売上高16,695百万円（前年同四半期比13.6%増）、セグメント利益（営業利益）は551百万円（前年同四半期比27.9%減）となりました。

欧州

為替換算の影響もあり、売上高は2,357百万円（前年同四半期比8.9%増）、セグメント利益（営業利益）は275百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

## アジア

タイでは洪水被害の影響がなくなり、販路の拡大も順調に進み、インドでも生産台数が増加しました。インドネシアでは新会社が量産を開始しております。売上高は8,610百万円（前年同四半期比132.4%増）、セグメント利益（営業利益）は1,341百万円（前年同四半期比184.8%増）となりました。

## 中国

中国については、政治問題による販売減少から回復しつつあり、売上高は5,583百万円（前年同四半期比9.8%減）、セグメント利益（営業利益）は278百万円（前年同四半期比55.0%減）となりました。

## 南米

南米については、生産台数の増加により、売上高は1,626百万円（前年同四半期比25.1%増）、セグメント利益（営業利益）は139百万円（前年同四半期比52.0%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より11,738百万円増加し、156,491百万円となりました。これは主に、売掛金及び有形固定資産の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より3,907百万円増加し、68,172百万円となりました。これは主に、買掛金及び長期借入金の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より7,831百万円増加し、88,318百万円となりました。これは主に、利益剰余金、為替換算調整勘定の増加によるものであります。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、193百万円であります。

当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の状況の重要な変更は、次の通りであります。

### （機種開発事業）

北米における主要得意先の機種開発増加に伴い、営業・開発機能の強化及びホットスタンプ部品の量産活動を行うため、北米に新たな子会社としてG-TEKT North America Corporationを設立いたしました。

当会社は、日本の開発機能の一翼を担う拠点として、自動車車体部品の機種開発に関わる研究開発活動を行っております。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	21,965,630	21,965,630	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	1単元(100株)
計	21,965,630	21,965,630		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年6月30日		21,965,630		4,656		23,333

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 22,000		1 単元(100株)
完全議決権株式(その他)(注)1 .	普通株式 21,936,300	219,363	同上
単元未満株式	普通株式 7,330		1 単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	21,965,630		
総株主の議決権		219,363	

(注) 1 . 「完全議決権株式(その他)」の株式数の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,400株(議決権の数14個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ジーテクト	埼玉県さいたま市大宮区 桜木町一丁目9番地4	22,000		22,000	0.10
計		22,000		22,000	0.10

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,746	14,911
受取手形及び売掛金	19,059	21,665
製品	654	738
仕掛品	10,119	11,563
原材料	1,688	1,481
貯蔵品	447	436
その他	3,564	3,797
流動資産合計	51,280	54,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,274	30,828
機械装置及び運搬具（純額）	25,306	26,431
工具器具及び備品（純額）	8,655	9,273
土地	1 9,722	1 9,965
建設仮勘定	9,366	13,638
有形固定資産合計	82,325	90,137
無形固定資産	1,534	1,670
投資その他の資産		
投資有価証券	6,735	7,412
その他	2 2,876	2 2,676
投資その他の資産合計	9,612	10,088
固定資産合計	93,472	101,897
資産合計	144,752	156,491
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,270	14,152
短期借入金	19,724	19,364
1年内返済予定の長期借入金	5,961	6,831
未払金	6,518	6,500
未払法人税等	451	523
賞与引当金	915	759
その他	2,329	2,846
流動負債合計	49,170	50,978
固定負債		
長期借入金	10,989	12,974
退職給付引当金	1,237	1,257
その他	2,867	2,960
固定負債合計	15,094	17,193
負債合計	64,265	68,172

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,657	23,657
利益剰余金	42,826	44,378
自己株式	20	20
株主資本合計	71,120	72,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,468	1,809
繰延ヘッジ損益	16	5
為替換算調整勘定	466	5,589
その他の包括利益累計額合計	1,918	7,393
少数株主持分	7,449	8,254
純資産合計	80,487	88,318
負債純資産合計	144,752	156,491

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	38,321	43,217
売上原価	32,328	37,520
売上総利益	5,992	5,697
販売費及び一般管理費	2,247	2,534
営業利益	3,744	3,162
営業外収益		
受取利息	62	54
受取配当金	12	18
為替差益	-	153
その他	99	59
営業外収益合計	174	286
営業外費用		
支払利息	189	172
為替差損	163	-
その他	31	48
営業外費用合計	383	221
経常利益	3,535	3,227
特別利益		
固定資産売却益	2	21
特別利益合計	2	21
特別損失		
固定資産売却損	9	6
固定資産除却損	5	-
特別損失合計	14	6
税金等調整前四半期純利益	3,522	3,241
法人税等	1,202	950
少数株主損益調整前四半期純利益	2,319	2,290
少数株主利益	123	344
四半期純利益	2,196	1,946

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,319	2,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	146	341
為替換算調整勘定	2,413	5,546
繰延ヘッジ損益	-	10
持分法適用会社に対する持分相当額	3	180
その他の包括利益合計	2,269	6,079
四半期包括利益	4,589	8,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,333	7,421
少数株主に係る四半期包括利益	255	948

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
連結の範囲の重要な変更	当第1四半期連結会計期間において、子会社としてアメリカ・オハイオ州にG-TEKT North America Corporationを設立し、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 圧縮記帳額

国庫補助金等により有形固定資産の取得価額から控除している圧縮記帳額及びその内訳は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
圧縮記帳額	149百万円	149百万円
(うち、土地)	149百万円	149百万円

2. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
投資その他の資産	18百万円	18百万円

3. 偶発債務

連結子会社以外の関係会社について、金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
G-ONE AUTO PARTS DE MEXICO, S.A. DE C.V.		1,656百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	2,748百万円	3,188百万円
のれんの償却額	15百万円	18百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	283	15	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	394	18	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	10,463	14,683	2,165	3,700	6,008	1,300	38,321
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,699	9	0	5	179		2,895
計	13,163	14,693	2,165	3,705	6,188	1,300	41,216
セグメント利益	1,588	765	279	470	620	91	3,815

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,815
セグメント間取引消去等	55
のれんの償却額	15
四半期連結損益計算書の営業利益	3,744

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更等に記載のとおり、当社及び一部の海外連結子会社における有形固定資産の減価償却方法は、従来、定率法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この結果、従来の方法に比較して、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、「日本」で111百万円、「北米」で10百万円それぞれ増加しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	8,554	16,692	2,356	8,593	5,394	1,626	43,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,359	3	1	17	189		1,570
計	9,913	16,695	2,357	8,610	5,583	1,626	44,788
セグメント利益	520	551	275	1,341	278	139	3,107

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,107
セグメント間取引消去等	72
のれんの償却額	18
四半期連結損益計算書の営業利益	3,162

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間において、子会社としてアメリカ・オハイオ州にG-TEKT North America Corporationを設立し、新たに「北米」セグメントに加えております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

第1四半期連結累計期間

前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 116.14円	1株当たり四半期純利益金額 88.72円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
四半期純利益(百万円)	2,196	1,946
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	2,196	1,946
期中平均株式数(株)	18,912,775	21,943,641

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8 月 7 日

株式会社ジーテクト

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高 橋 勝 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 東 葭 新 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジーテクトの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジーテクト及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。